（5）年

	学習の現状と課題	「授業ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ」などを踏まえた改善策
国語	【実態】主体的に漢字の学習に取り組み、漢字の意味を正しく理解している児童もいるが、適切に使用することが苦手な児童もいる。 【工夫】〈つかむ〉単元全体を通した見通しを示したり、毎時間めあてを確認したりしていくことを心掛けた。新出漢字の熟語やその意味を調べさせ、活用する機会を設けた。 【課題】〈つかむ〉活動するだけで授業が終わってしまうことが多い。作文などで誤字脱字が多いので支援が必要である。	〈つかむ〉子供たちの生活に関わる題材を提示したり、他教科と関連付けたりして課題に取り組めるようにする。 〈深める〉発表の形を工夫することで深い学びへとつなげる。既習の漢字は活用するように徹底し、定着を図る。
社会	【実態】様々な社会的事象に対して関心を示しているが、資料を正確に読み取ったり、日本地図・世界地図を理解したりすることが苦手である。 【工夫】〈つかむ〉資料を読み解くことが弱い児童がいる。まずはきちんと資料を見て、理解するところから問題に取り組むように指導した。 【課題】〈考える〉資料の簡単な読み取りはできるようになってきたが、読み取った情報を基に、社会事象に気付いたり自分の考えをもったりするところまで達していない。	〈つかむ〉資料から読み取った情報のどこに注目して考えたらよいかを提示していく。 〈考える〉自分で考える時間を多く設定する。グループで話し合い活動を行い、様々な考えに触れさせ、考えをもちやすくする。
算数	【実態】課題に対して自分の考えをもって取り組める児童が増えてきたが、苦手意識をもつ児童は、課題に取り組むまで時間がかかる。特にわり算の計算や文章題から立式することが苦手な児童が多い。 【工夫】〈つかむ、考える〉コースに合わせて導入や課題の提示を工夫することにより、関心をもたせるようにした。習熟に十分な時間を確保したり、友達と意見交流をしたりする中で、自分の考えに自信がもてたり新たな考えを見付けたりできるようにした。 【課題】〈まとめ〉コースによって習熟具合に差が出てしまうことがある。思考ができても計算力不足によって成果が上がらないことがある。	〈つかむ〉コースによって学習内容を用意する。 〈深める〉わり算の計算練習を朝学習などの時間で繰り返し行う。

理科	【実態】課題を解決するために、予想を立てたり、前向きに学習に取り組んだりして意欲的に取り組めるが、実験の結果から分かることや課題に迫る自分の考えを書くことに課題が見られる。 【工夫】〈見通し〉課題を明確にし、自分の考えを書く時間を確保した。 【課題】〈まとめ〉実験結果から分かることを自分なりに書ける児童が増えてきた。課題にせまる学習のまとめを自分で考えることは難しい。	〈まとめ〉めあてや問題を明確にすることで、何について考えているのかを示し、学習したことをまとめられるようにする。
音楽	【実態】意欲的に取り組み、グループ活動でも積極的に意見を出し合い、協力して取り組むことができる。 【工夫】〈考える〉音楽的な構成の仕方の例を示し、音楽の縦と横の関係を意識できるようにした。 【課題】〈広げる〉自分たちの思いをもって構成を考えていくことはできているが、表現へつなげていくところに自信をもたせるための支援をしていく。	〈広げる〉考えた強弱の工夫が、足りないところがあるので、グループ活動でお互いに聴き合いながら、お互いに高められるような場面を設定する。
図工	【実態】題材のめあてをよく理解し、材料の特徴に合わせた柔軟な発想力を発揮することができる。 【工夫】〈つかむ〉材料とよく関わる時間を確保することで、児童が自ら材料の特徴や道具の使い方の工夫に気付くように工夫した。 【課題】〈見通し〉作品が小さくなりがちな児童が多いので、最初に作品のイメージをもたせる際に、空間の使い方を意識させる必要がある。	〈見通し〉広い場所を活用した活動を取り入れ、空間を把握して作品の全体の意識をもつ力を養う。
家庭	【実態】意欲的に学習に取り組み、自主的に作品を製作しようとしている。 調理の技能には経験の差がみられる。 【工夫】製作の材料を意欲的に準備し、イメージをもって製作活動に取り組んでいる。 【課題】学習を日常生活に生かす態度を高めたい。	〈広げる〉学習したことを、家庭生活に生かす場面を提示し、家庭と連携しながら日常生活に生かせる態度を養う。
体育	【実態】意欲的に活動に取り組むが、身体能力の個人差が大きい。 【工夫】〈広げる・深める〉動きのポイントを全体で確認したり、友達同士で教え合ったりして動きのポイントを体得できるように努めた。 【課題】〈広げる・深める〉自ら立てた目標に達することができるようにするための支援を行なっていく。	〈深める〉一人一人が自分自身の課題をつかみ、解決していけるような場を用意する。全体で共有したり、友達同士で教え合ったりしながらポイントを明確にし、目標を達成できるようにする。